

NEW PROJECT

## “1日1分の奇跡”キャンペーン開催中

ピース・デザイン・フォーラム参加者の方々から、「北東アジアの平和のために、私たちが日常でできることはありますか？」という質問を受けることがあります。まずは1日1分でも、当たり前な自由や人権すら享受できていない方々に思いを寄せることから始めてみてはいかがでしょうか。GPF Japanから週に一回、朝鮮半島情勢や北朝鮮の人権状況など、北東アジアの平和構築に関わる情報をお送りし、皆様と共に平和を願う「1日1分の奇跡キャンペーン」を実施しています。配信を希望される方は、[japan@globalpeace.org](mailto:japan@globalpeace.org)までご連絡ください！



EVENT

### 第9回ピースデザイン フォーラム (仙台)

2025年1月18日、仙台市の日立システムズホールにて「第9回ピース・デザイン・フォーラム」が開催されました。



#### ■川崎栄子氏 (AKU Japan代表理事、NGOモドゥモイジャ代表)

今回のゲストスピーカーは、川崎栄子さんでした。川崎さんは在日コリアン2世として生まれ育ちましたが、17歳の時に「北朝鮮は地上の楽園」という偽りの宣伝によって北朝鮮に渡り、過酷な環境で43年間生き延びたのちに脱北されました。

現在、この未曾有の人権問題を訴えるとともに、北朝鮮が自由と人権が保障される国になり、朝鮮半島の平和統一実現を目指し活動しています。

講演の中で川崎さんは、北朝鮮の港に到着して迎えに来た人々のひどい服装や、北朝鮮での食糧事情、移動や職業選択の自由がなかったことなど、事細かに説明されました。そして子供達を全員結婚させ親の責任を果たして還暦を迎えた後で、「北朝鮮の実情を世界に知らせなければ」と決意し、死を覚悟で脱北されたそうです。

川崎さんは「世界の平和のためには、今の世界で最悪の状況にある北朝鮮を崩壊させることが重要であり、生きてこの目で民主化された北朝鮮を見たいと思っている」と締めくくりました。

#### ■後藤亜也氏 (グローバル・ピース・ファウンデーション・ジャパン 代表理事)

講演に立った後藤氏は世界中で実践されているGPFの平和構築のアプローチを朝鮮半島問題にいかに関用するかを説明しました。



現在、北朝鮮問題の解決策として一般的に考えられている、①「非核化すれば2国体制を維持する」、②「武力行使による強制武装解除」という二つの選択肢は、いずれも北朝鮮の人権問題や安全保障上の脅威を放置すること、あるいは朝鮮半島に甚大な被害をもたらすものであるとして、第三の道を提示しました。

それが、「共通のビジョンに基づいた平和統一」の道です。後藤氏は写真を用いながら、韓国では現在進捗を見せている、「コリアン・ドリーム」に基づいた草の根の市民運動の様子を紹介しました。また統一コリアの実現が日本にもたらす平和や経済的な恩恵について解説し、日本人の長所を活かして北東アジアの平和構築のために貢献する必要性を訴えました。



ピース・デザイン・フォーラムは今後も日本各地で開催します！

NOTICE

### 2/22 (土) 第10回ピース デザインフォーラム開催！

- 日時：2025年2月22日 (土)  
午後1時 - 4時半
- 会場：ティアラこうとう (小ホール)
- 参加費：1000円



お申し込み  
はコチラ

- 1 終戦80周年に考える、北朝鮮によるロシア派兵と東アジアのこれから  
フリージャーナリスト 五味 洋治
- 2 日韓国交正常化60年。両国の努力の継承と発展  
東アジア総合研究所 理事長 姜 英之
- 3 北東アジアの平和構築のためのアプローチ  
一般社団法人 グローバル・ピース・ファウンデーション・ジャパン 代表理事 後藤 亜也

今回のオピニオンは、仙台で行われたピース・デザイン・フォーラムのパネルディスカッションの内容を抜粋して掲載いたします。

## 朝鮮半島問題の解決は、世界平和に必ずつながる

**川崎：**ロシア・ウクライナ戦争は今のところは局地戦ですが、一步間違えば世界的な戦争に発展する可能性を秘めています。そこに北朝鮮は派兵しています。戦争がエスカレートした時に、プーチンは核とミサイルを保有している北朝鮮をどう使うのか。これは決して、安心できる問題ではないし、世界中が関心を持たなければならない問題です。

**後藤：**朝鮮半島の問題を本質的に考えてみると、ここには20世紀からの負の遺産と呼べるようなたくさん問題があります。植民地支配の問題もあれば、東西冷戦の残滓も分断という形であります。独裁の問題もあります。これらの問題は世界の歴史の中で、平和に向かっていくためには必ず克服していかなければならない問題です。朝鮮半島の平和統一を成し遂げることは、これらの問題を世界が目指す中で乗り越え、世界中にある同じような、共通の課題を克服することができるテンプレート（雛形）を提供することにつながるのです。私たちはそのような意識で取り組んでいます。

## 日本の私たちが朝鮮半島問題に当事者意識をもつこと



**川崎：**朝鮮半島が安定しなければ、日本の平和も保障されることはありません。それは一番近い国だからですし、植民地支配したこともあり、一番関わってきた国だから、切っても切れないのです。

それに今は、米軍基地が日本にあります。そういうことからしても、北朝鮮問題を正しく解決しないと、日本は安全ではないということです。

**後藤：**北朝鮮の人が常に命を奪われかねない状況の中にいます。もしも自分の子供だったら絶対に「そ

んなところに行くな」と言います。日本人は「和」を大切にするとはいいますが、違う国の話になると途端に思いやれなくなりイマジネーションが湧かなくなる部分があるように思います。ですから映画などを活用してでも、まずは「知ること」から始めることが大切ではないでしょうか。知ること、まずは気持ちが動くようになります。私も川崎さんから色々なお話を聞いて、「このままでいい」とは絶対に思えない、そういう気持ちになりました。

## 私たちの「1日1分」は大きな力を生む

**川崎：**私は当事者ですから、24時間こんなことばかり考えています。ですが皆さんには、1日に1分でもいいから、毎日、北朝鮮の人々のことを考えてほしいと思っています。飢えている人、強制収容所に送られた人、抑圧されている人。・・・寝る前に、「今日は1分考えたかな」と振り返っていただきたいのです。ちょっとでも思い浮かべることで、それがつながったら、北朝鮮問題を解決する方法が見つかっていくのではないかと思います。

**後藤：**私も同意見です。1日1分、みんなが考えるようになれば、例えば一千万人が毎日1分考えるようになれば、何かが変わってくるはず。一人一人の行動が変わってくるし、民意が変わり、国会に提出される法案の内容や外交政策まで変わってくるかも知れません。これが草の根の、人々の力というもの。そしてそれは「知ること」で気持ちと行動が変わるということから始まります。ですから「1日1分」というのはすごく大切な時間だなと思います。ぜひ進めていきたいと思っています。

GPF Japanから、北朝鮮の問題、脱北者の証言の内容、朝鮮半島の情勢に関するニュースなど、皆さまに貴重な「1日1分」を持っていただけるような情報をお送りして参ります。北東アジアの平和は私たちの「1日1分」から作っていくことができます。「1日1分の奇跡キャンペーン」にぜひご参加ください。  
(参加表明はjapan@globalpeace.orgまで)

## 一般社団法人 グローバル・ピース・ファウンデーション・ジャパン

東京事務局

住所 〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7番7号 O・Hビル401号室

TEL 03-6416-5435 FAX 03-6416-5436

E-mail japan@globalpeace.org

仙台オフィス

住所 〒980-0011

仙台市青葉区上杉1丁目12-20-207

TEL 090-8546-7806